

神埼灯台

本格的なレジャーシーズン到来により、海に出かける頻度も増えると思います。
次の内容に十分注意していただき、安全運航をお願いします。

1 出航前の点検を！（船の異常の早期発見）

春になり、久しぶりにエンジンを回される方も多いかと思います。例年、この時期には「機関故障」や「バッテリー過放電」などにより運航不能となる船舶事故が多く発生しています。出航前にはいつも以上に船体、機関、燃料、バッテリー等の点検を入念に実施して、上記事故を防止しましょう。異常を認めた場合には、修理を行って、ベストな状態で出航しましょう。

2 見張りの徹底！（余裕のある避航動作を）

温暖な気候となるこれからの時期は、漁船をはじめ、遊漁船やプレジャーボートなど、様々な船舶の活動が活発化します。

船体の構造上、周囲が見えにくい船舶は、レーダーの活用や、死角を補う操船の実施等により適切な見張りの実施をお願いします。航行中だけではなく、漁労中、漂泊中、錨泊中も適切な見張りを徹底して、衝突事故を防止しましょう。

3 救命胴衣の常時着用！（自分の命は自分で守る）

海中転落した際の最後の頼みは救命胴衣です。救命胴衣着用時の生存率は非着用時の2倍以上とのデータもありますので、海中転落した際にご自身の身を守るためにも、出航する際には必ず救命胴衣を着用しましょう。

また、救命胴衣は国が認めた「桜マーク」付のものを必ず着用し、膨張式の救命胴衣については、「救命胴衣本体に傷や穴による空気漏れはないか」、「ボンベの腐食はないか」等、定期的な点検を実施しましょう。

《令和7年の対馬における海難発生状況》 隻

船舶事故	衝突	無人漂流	合計
	4	2	6
人身事故	海中転落		合計
	2		2

（令和7年4月1日現在）

出航前には気象情報を
入手しましょう！
二次元コード参照↓



桜マーク



海の安全情報

検索

